

平成30年度旭川市立六合中学校通信

5月号

久遠の塔

発行：旭川市立六合中学校
住所：旭川市末広3条2丁目
電話：0166-51-5388
HP：http://www.asahikwa-hkd.ed.jp/rokugo-jhs
発行日：5月25日（金）

「心のオアシス運動」

校長 工藤 亘

5月11日（金）は、1・2年生の炊事遠足、そして、5月13日（日）～16日（水）にかけては3年生の修学旅行が行われました。いずれも所期の目的を達成し、やり遂げた充実感とともに、行事を通して学級・学年の絆を深めたことと思います。特に修学旅行では、3年生と一緒に行動しましたが、「静」と「動」のメリハリのある態度に感心しました。話を聴く場面では、姿勢を正して話を聴き、レクリエーションなど動きのある場面では、みんな楽しく過ごしていました。そして、先生方の熱い思いに対して、その「信頼」や「期待」に応えようとする純粋な気持ちが随所に見て取れました。これからも学校の「顔」としての活躍を期待しています。

さて、学校を離れた行事では、教室の中での活動と異なり、いろいろな一面を見ることが出来ます。普段、学校の中ではできていたことも、学校を離れるとできなかつたり、公共の場に相応しくない言動が見られたりすることもよくあることです。とりわけ、「挨拶」や「言葉の力」は大きいと感じています。「オアシス運動」というのは皆さんご存じだと思います。

「オ」…おはようございます。
「ア」…ありがとうございます（した）。
「シ」…失礼します（した）。
「ス」…すみません（でした）。

何気ないひと言ですが、初対面の人や見知らぬ土地に立った時、コミュニケーションの手段として、とても大事なことだと痛感させられます。一見簡単のように見えても、普段の生活から身に付け、積み重ねていないと、その場になって付け刃で繕ってもボロが出るからです。

挨拶は、ただ言葉に出して発すればよいというものではありません。そこには「心」がこもっていなければなりません。

「オ」～思いやりの心
「ア」～温かい心
「シ」～親切な心
「ス」～素直な心

心のこもった挨拶は、周囲を気持ちよくさせます。そして、人と人を結びつける大切なスキルを身に付ける活動です。習慣として身に付けることによって、学校外のどんな場面でも活かすことができるものです。今後も「心のオアシス運動」を心がけてください。

教務部より

修学旅行や遠足、校内陸上競技大会の取組など、5月も慌ただしい日々ですが、生徒たちは授業に集中して、真剣に取り組んでいます。4月17日（火）に行いました全国学力・学習状況調査を校内で分析を行いました。その分析の結果から以下のことに取り組みます。

- ①1時間の中で、「課題設定」「見通し」「振り返り」の活動を行う。
 - ②「情報を読み取り、そしてイメージして、それを表現する力」がつけられるよう指導する。
 - ③「あきらめない」「あきらめさせない」指導を行う。
 - ④小テストや単元テスト等において、「長文の問題」や「記述式の解答」を取り入れ、問題になれさせる。
 - ⑤小学校と連携して、課題を共有し、改善に向けて取り組む。
- を進めます。特に⑤については、末広小と春光小と協力して、右記のような「9年間を見通した学習のめやす」を作成し、3校で共通して取り組んでいます。
- 今後も生徒の学力向上にむけて、取り組んで参ります。



生徒指導部より

自転車の利用が可能になって1ヶ月がたちました。生徒の皆さんにとっては、快適に利用していることと思います。しかし、自転車の乗り方については、地域の方からもご心配の声をお寄せいただいております。交通ルールを守っていない生徒が若干いることは残念です。今一度、交通事故は自分が傷つくだけではなく、相手や家族にまで、大きな影響をあたえるものであることを自覚し、ルールやマナーをしっかりと守ってください。

文部科学省より、平成25～29年に発生した生徒の交通事故の分析結果によると、中学生の自転車乗車中の交通事故が多く、その死傷者は小学校6年生から中学1年生で倍増し、高校1年生が最多であること。中学生の自転車乗車中の交通事故は、登校中・下校中、出会い頭事故が多く、出会い頭のうち交差点での衝突や安全不確認を原因とする事故が多いというデータがあります。

以上のことを踏まえ、以下の自転車安全五原則と自転車のルール&マナーを徹底しましょう。

【自転車安全五原則】

- ①自転車は車道が原則、歩道は例外
- ②車道は左側を通行
- ③歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- ④安全ルールを守る
- ⑤子ども（小学生以下）はヘルメットを着用

【自転車ルール&マナー】

- ①ライトを点灯しましょう
- ②決められた場所に駐輪しましょう
- ③ながら運転はやめましょう（傘差、携帯電話、イヤホンなど）
- ④自転車は公道を走る“軽車両”であり、命を預ける“乗り物”です

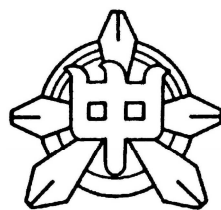
前期生徒総会

5月10日（木）に平成30年度前期生徒総会を行いました。生徒会の一員として自覚をもつこと、よりよい学校生活をしていこうとする意識を持つことをねらいとして実施しました。



6月の行事予定

- 1日（金）3年三者面談（～11日）
1・2年教育相談（～11日）
- 4日（月）中連陸上壮行会
- 5日（火）中連陸上競技大会
- 9日（土）部活動中止（～14日）
- 12日（火）職員会議
- 14日（木）1学期末テスト（～15日）
- 19日（火）常任委員会
- 21日（木）中連生活部6月研
- 22日（金）研修日
- 25日（月）中連体育大会壮行会
- 26日（火）中連体育大会（～28日）



【学校教育目標】
輝かしい未来を築く 創造性豊かな生徒の育成を目指して
高い知性 豊かな心 強い意志 たくましい体力
【行動の合言葉】
元気にあいさつ 進んで活動 みんなと協力
【年度の重点目標】(重点目標具現化のための取組 “3つのビジョン, 10のミッション, 20のアクション”)
『自ら感じ、考え、主体的に行動する生徒の育成』



1 主体的な学びを通して、確かな学力を育む

- (1)教育課程 ①地域の特性を生かした特色ある教育課程(社会に開かれた教育課程)
②今日的な教育課題に対応する教育課程
(2)学習指導 ③主体的な学びを促し、基礎・基本の確実な定着を図る学習指導
④一人ひとりのよさ・可能性を伸ばす学習指導
(3)総合的な ⑤自ら課題を見つけ、その解決や探求に主体的に取り組む活動
学習の時間 ⑥地域の教育資源を有効活用した特色ある活動
(4)特別支援 ⑦一人ひとりの特性を生かし、適切な対応・指導に努める特別支援教育
教育 ⑧家庭や関係機関との連携を深め、協働体制で取り組む特別支援教育

2 生命を尊重し、思いやりの心や自律心を培う。

- (5)心の教育 ⑨豊かな心を育てる道徳教育
⑩心に響く指導、生きた指導、考えさせる指導で進める道徳教育
(6)特別活動 ⑪自主性や創造性を育て、共に生きる喜び・よさを学ばせる特別活動
⑫魅力があり、活力があり、個が輝く特別活動
(7)生徒指導 ⑬自らを律する心を培い、「よりよく生きる力」を育む生徒指導
⑭共感的理解に努め、組織的に取り組む生徒指導
(8)キャリア ⑮自らの能力や適性をとらえ、将来の生き方や夢に向かうキャリア教育
教育 ⑯社会の一員としての望ましい勤労観・職業観を育むキャリア教育

3 粘り強く、たくましい心身を育む。

- (9)健康・安全 ⑰自他の生命を尊重し、生活の安心・安全意識を高める安全
全教育 教育
⑱食育や運動の生活化等を通して健康の保持増進・体力の向
上を図る健康教育
(10)食育 ⑲食に関する学習や食体験を通じて、食事の自己管理能力を
養う食育
⑳食をめぐる環境を理解し、食に感謝する心を育てる食育

1年生遠足

1年生は、5月11日(金)に春光台公園で行いました。午前中は、少し肌寒い気温でしたが、桜の木の下で、中学校入学しての最初の学年行事を行いました。1年生は徒歩での移動と炭おこしを課題に取り組みを通して、グループや学級内の交流を深めました。



2年生遠足

2年生は、5月11日(金)に、総合体育館前の駐車場に自転車で集合し、神楽岡公園まで、チャリンコラリーを行いながら10kmの道のりを移動しました。必ず炊事することを課題とし、全班ご飯を炊きました。手の込んだ調理を行う班もあって充実した活動となりました。



遠足

修学旅行



3年生が、5月13日(日)から3泊4日で、修学旅行に行ってきました。新幹線の開通もあり、岩手県盛岡市までの旅程でした。世界遺産の中尊寺や日本百景の狛鼻溪船下り、東日本大震災の復興見学、そして北海道に戻ってきて、異国情緒あふれる函館市内自主研修を行いました。充実した4日間を過ごし、思い出に残る修学旅行となったようです。

中学生と裁判官との交流会

5月18日(金)に、2年生の徳丸さん、永井さん、有路さんの3名が、旭川地方裁判所で行われた交流会に参加してきました。

裁判官からしめされた判例に対し、自分の考えを发表或し、実際の法廷の見学と法服を着用するなど、裁判所での交流と体験は大変有意義な活動となりました。

